

SSL-JVC75

7.4V/7350mAh Lithium Ion Battery for JVC

取扱説明書



このたびは、SSL-JVC75をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用に際しては本書をよくお読みいただき、基本的な取扱い方法や注意事項をご理解された上で、安全にお使い下さい。お読みになられた後は、いつでも見られるところに必ず保管して下さい。

安全にお使いいただくための注意

本バッテリーは取扱いを誤りますと、破裂・発火・発煙・発熱・漏液の恐れ、または性能低下や故障の原因となりますので、下記の禁止および注意事項を必ず守って下さい。

⚠ 危険：死亡や重傷を負う危険が切迫して生じることがあります

- 充電は機器本体又は専用充電器以外使用しないで下さい。
- 本バッテリーを指定された機器以外で使用しないで下さい。
- 端子間を金属類でショートさせないで下さい。また、金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないで下さい。
- 火の中に投げたり、加熱しないで下さい。
- 水、海水、飲料水などで濡らしたり、水中に投げないで下さい。
- 車内や炎天下など、60℃以上の高温になる場所に放置しないで下さい。また、使用温度範囲を超えた環境で使用、保管をしないで下さい。
- 端子に直接半田付けしないで下さい。
- 分解したり改造したりしないで下さい。
- 落下させたりハンマーで叩くなど、強い衝撃を与えないで下さい。また、重いものを載せたり、圧力を掛けないで下さい。
- 鋭利なもので刺したり、傷つけたりしないで下さい。また、損傷が著しい場合は使用しないで下さい。
- 腐食環境（塩害、海水、酸、アルカリ、腐食ガス等）では使用しないで下さい。また、極端な高湿度環境でも使用、保管しないで下さい。

⚠ 警告：死亡や重傷を負う危険が生じる可能性があります

- 高温や高負荷で使用した後は、ケースが熱くなることがありますので注意して下さい。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、直ぐに充電を中止して下さい。
- 充電や放電中に異臭を発したり、異常な発熱や変色、変形など通常と異なる症状が見られる場合は、直ぐに使用を中止して下さい。
- バッテリーから漏液したり異臭がした場合は、直ぐに火器より離して下さい。
- 万一、漏液した液が皮膚に付着した場合は、直ちに石鹸を使用して水で十分に洗浄して下さい。
- 万一、漏液した液が目に入った場合は、擦らず直ちにきれいな流水で15分以上洗浄し、医師の治療を受けて下さい。

⚠ 注意：けがや物品損害が生じることがあります

- 必ず指定の充電/放電条件を守って下さい。
- 涼しく乾燥した場所で保管して下さい。
- 長時間使用しない時は、機器から取り外して下さい。
- 帯電物や静電気の発生する場所に接触、接近させないで下さい。
- 端子は、常にきれいな状態で使用し、汚れや異物が付着したら乾いた布で拭き取って下さい。

適合機器

- JVC KENWOOD製機器
 - IDX製機器
- *詳しくは弊社までお問い合わせください。

充電

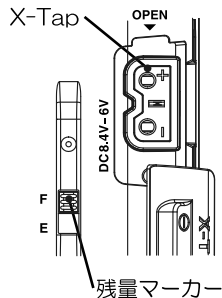
- 必ず機器本体もしくは弊社充電器を使用し、その他の充電器で充電しないで下さい。充電方法は機器本体もしくは充電器の取扱説明書をよくお読み下さい。
- 充電使用温度以外では充電できません。常温に戻して充電して下さい。
- バッテリーには自己放電があります。使用する前に充電して使用して下さい。

放電

- 最大放電電力は、バッテリーコネクタが21W、X-Tapが20Wであり同時使用が可能です。ただし高温環境下で同時出力する時、X-Tapの負荷が20W以下であっても電池内部が高温になり温度保護が作動した場合は放電を停止しますのでご注意下さい。
- 一般的に、消費電力が大きくなると使用時間は短くなります。低温では放電特性が低下し使用時間が短くなります。高温ではバッテリーを劣化させる恐れがあります。
- 放電は6Vまで使用できます。6V以下では放電を停止します。
- 出力5W以上のトランシーバーなどを使用する場合には、極力バッテリーから遠ざけて下さい。電波の影響を受けて放電が停止することがあります。

[X-Tap]

- 本バッテリーにはX-Tapがあり、バッテリー電圧をスルー出力(8.4V~6.0V)します。
- 最大出力は20Wです。
- 充電中はX-Tapを使用しないで下さい。充電器によっては充電が完了しない場合や充電エラーが発生したり、破損する場合があります。
- X-Tapでは充電しないで下さい。



[残量マーカー]

- 手動でスライドさせる残量マーカーです。充電後はFに、使用後はEにスライドさせることによりバッテリーの状況がわかる目印としてお使いいただけます。

保管

- 涼しく乾燥した場所で保管して下さい。
- 60℃以上では保管や放置をしないで下さい。
- 長期保管するときは充電容量を20~30%程度にして保管して下さい。

寿命

- 使用頻度が多くなると、満充電しても使用時間が短くなります。このような時はバッテリーの寿命が近づいています。
- 寿命となる時期は、使用頻度、使用状態、保管状態などにより異なります。
- 一般的に、使用頻度が多いほど、高負荷で使用するほど、高温で使用や保管するほど、満充電での長期保管などでは、寿命が短くなります。

仕様

- 使用電池：リチウムイオン二次電池
- 公称電圧：DC7.4V
- 容量：7350mAh/55Wh^{*1}
- 充電電圧：DC8.4V/最大DC8.5V (0~45℃)
- 充電電流：標準2.5A/最大3.5A (10~45℃)
- 最大放電電力/電流

バッテリーコネクタ：21W/3.5A

X-Tap：20W/3.3A

同時出力の場合：41W (35℃以下)^{*2}

：36W (35~45℃)^{*2}

- X-Tap出力電圧：バッテリー電圧(8.4V~6.0V)
- 放電終止電圧：6.0V
- 保護機能：過充電、過放電、過電流、温度保護
- 使用温度：充電 0~45℃(推奨10~30℃)
放電 -20~45℃(推奨10~35℃)
保存 -20~50℃(1ヶ月)

- 外形寸法：43(W)×80.5(H)×70.4(D)mm

- 質量：約350g

^{*1} 弊社の容量表記は20℃時のミニマム表記です。

^{*2} バッテリーコネクタとX-Tapを同時出力する時は放電電力と温度にご注意下さい。電池内部が高温になり温度保護が作動した場合は放電を停止します。

出荷状態

- 出荷時の充電状態は約30%ですが、ロットや在庫期間によっても変わってきます。

バッテリーのリサイクルについて

リチウムイオン電池はリサイクルが可能です。不要となったバッテリーは、端子を絶縁テープなどで絶縁しリサイクル協力店に備え付けのリサイクルボックスに入れていただくか、弊社までご連絡下さい。充電式電池のリサイクル、リサイクル協力店については、一般社団法人JBRCをご参照下さい。

(<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>)

リチウムイオン電池の航空輸送規制について

(2014. 1. 1改定)

本バッテリーは、国際民間航空機関 (ICAO) 並びに国際航空運送協会 (IATA) の航空危険物規則に規定される危険物 (Class9) の対象になりますので、運送時には所定の手続きが必要となりますが、輸送数量によっては危険物除外となる場合があります。

※ ICAO並びにIATAの航空危険物規制に関して

規則・国連危険物輸送勧告テストに合格していること

・ワット/時定格が100Wh以下のもの

・ワット/時定格がバッテリーに表示されていること

本バッテリーは、国連危険物輸送勧告テストに合格しています。バッテリー容量は100Wh以下で製品ラベルに表示しています。

バッテリーの機内持ち込み

運航者の承認を必要とせず機内持ち込み手荷物として航空機に持ち込むことができますが、航空会社によって対応が違いますが有りますので事前に利用する航空会社に問い合わせることをお勧めします。

バッテリーを機器に取り付けている場合は受託手荷物あるいは機内持ち込み手荷物のいずれかにに入れて輸送が出来ます。予備電池は機内持ち込み手荷物に入れて持ち込むことが出来ますが、バッテリーの端子をテーピングするか個々にビニール袋に入れて絶縁して下さい。受託手荷物として預け入れは出来ません。手荷物の総重量、サイズ、個数など航空会社によって規定が有りますので事前に航空会社にお問い合わせください。

貨物輸送

◆電池単体輸送の場合 (PI965 Section II)

1梱包内に本バッテリーを2個までであれば危険物適用除外として通常輸送が可能です。この場合、梱包容器が1.2mの落下試験に適合していること※、リチウムイオン電池取扱注意ラベルの貼付、危険物除外申告書を輸送会社に提出する必要があります。

◆電池単体輸送の場合 (PI965 Section I.B)

1梱包内に本バッテリーを3個以上、かつ梱包総重量が10kg以下の場合危険物 (Class9) 輸送が必要です。但し、この場合の梱包は包装等級IIに適合する必要はなく、1.2mの落下試験に適合した通常の強固な包装物で輸送が可能です。輸送には、リチウムイオン電池取扱注意ラベルとClass9危険物ラベルの貼付、“UN3480 Lithium ion Batteries”と荷発送人、荷受人の名前/住所を表記し危険物申告書の提出が必要です。

◆電池を機器と同梱して輸送の場合 (PI966 Section II)

本バッテリーを機器と同梱で輸送する場合、1梱包内のバッテリー合計質量が5kg以下の場合危険物除外として輸送が可能です。この場合、バッテリー単体梱包若しくは同梱梱包で1.2mの落下試験に適合していること※が必要で、包装物にはリチウムイオン電池取扱注意ラベルの貼付と危険物除外申告書の提出が必要です。1梱包内に入れることが出来るのは機器を動作させるための最小個数とスペア2個までです。

◆電池を機器に組み込んで輸送の場合 (PI967 Section II)

本バッテリーを機器に組み込んで輸送する場合、1梱包内のバッテリー合計質量が5kg以下の場合危険物除外として輸送が可能です。リチウムイオン電池取扱注意ラベルの貼付と危険物除外申告書の提出が必要です。包装物の落下試験は不要です。強固な包装物の中に機器に装着された状態のバッテリーが2個以下の場合は、リチウムイオン電池取扱注意ラベルと危険物除外申告書は不要です。

※ 本バッテリーは集合梱包状態での落下試験に合格していますが、バッテリー単体梱包 (個装箱) での試験は実施しておりませんのでご注意ください。

上記に適合しない場合はすべて危険物 (Class9) 輸送の対象となります。

詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

使用後はリサイクルへ



株式会社 アイディーエクス

本社：〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原6-28-11 Tel:044-850-8801 Fax:044-850-8838
Home Page: <http://www.idx.tv> E-mail: idx.japan@idx.tv

※仕様および外観は予告なく変更することがあります。※製品および製品保証に関するお問い合わせは上記の弊社営業部に受け付けております。BLMK130293-1

SSL-JVC75

7.4V/7350mAh Lithium Ion Battery for JVC

Instruction Manual



Thank you for purchasing the SSL-JVC75 Li-ion Battery. Prior to using the battery, we strongly recommend that you read this Instruction Manual on how to best use the battery and keep this manual for future reference. If you have any additional questions, please contact the appropriate IDX office listed at the end of this manual.

Caution for safety use

Improper handling of this Li-ion battery may result in smoke, heat, fire, explosion or leakage as well as cause performance degradation or failure. Please be sure to observe the following precautions.

⚠ DANGER

May cause sudden serious injury and death

- Charge with JVC KENWOOD equipment or IDX battery charger only.
- Only use the battery with JVC KENWOOD video equipment or IDX video equipment. Do not use it with other equipment.
- Do not short the contact pins with any metal object. Do not carry or store with metal equipment.
- Do not expose to heat and never throw the battery in a fire.
- Do not immerse in water. Keep the battery dry and away from excessively dry or humid environments.
- Do not leave the battery exposed to excessive heat such as in a car or directly under the sun light. Do not use outside specified temperature range.
- Do not solder on the contact pins directly.
- Do not attempt to open the outer casing or break apart the battery.
- Do not subject the unit to extreme physical impact or pressure, or place any object across the terminals that could cause it to short.
- Do not pierce or drill into the outer casing of the unit.
- Do not attempt to use the battery if damaged.
- Do not use a battery in a corrosion environment. (Damage from salt water, seawater, acid, alkali, corrosive gas, etc.) and do not use it in an extreme high humidity environment.
- Risk of explosion if battery is replaced by an incorrect type.

⚠ WARNING

May cause serious injury and death

- Please note that the outside casing becomes hot when the battery is used by discharging high temperature or high load.
- Stop charging immediately if the battery fails to charge within the designated time for charging as noted in the manual for the charger.
- Do not use if the battery displays an unusual appearance (smell, discolor, etc.) when in use, during charge or in storage.
- Keep away from fire if the battery leaks fluid or has an unusual smell.
- In case of leakage, wash your hands and face thoroughly with clean water immediately.
- Check with your doctor if battery fluid gets into contact with your eyes.

⚠ CAUTION

May cause injury or damage other equipment

- Follow instructions on charging and discharging.
- Store in cool and dry conditions.
- During long periods when not in use, please remove the battery from the equipment.
- Do not use, store or place the battery in an electrostatic area.
- Always keep the connectors clean.

Compliant equipment

- JVC KENWOOD -Video Equipment
 - IDX -Video Equipment
- *Please contact IDX for more information.

Charging

- Charge with JVC KENWOOD equipment or IDX Li-ion chargers only. Refer to the instruction manual of the equipment or IDX charger for a description of the charging procedure.
- The battery will stop charging when it exceeds the range of the charge temperature specification. Please resume charging after the battery returns to room temperature.
- The battery will incur a small amount of self discharge. IDX recommends charging before use.

Discharging

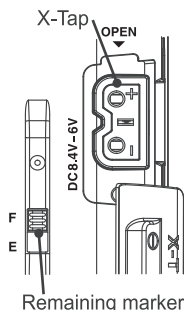
- Maximum discharge load for battery connector is up to 21W and X-Tap 20W. Both can be used simultaneously. As in simultaneous use of battery connector and X-Tap under high temperature environment, the thermal protection would activate to stop discharging when detects high temperature of battery even if the load of X-Tap is below 20W.
- In general, the battery discharge time will be shortened if the load/power consumption is higher than 21W.
- Discharge capabilities are reduced when the battery is used in extreme low/high temperature environments. Discharging at an ambient temperature of 50~104°F (10~40°C) is recommended.
- The voltage range during discharge is a 8.4V~6V. The battery automatically stops discharging below 6V.
- Transmitter equipment with a power output above 5W should be kept as far away from the battery as possible as it may disrupt or even stop the discharging.

[X-Tap]

- X-Tap power output terminals available(8.4V~6.0V).
- A Maximum power output is 20W.
- Do not load the power from X-Tap while charging otherwise it may cause of incomplete charging, occurrence of charge error or damage to the charger.
- X-Tap is only for discharging.

[Remaining marker]

- It is the remaining marker to slide manually. To F after charging, To E after use, Can be used as a marker to determine the status of the battery.



Storing

- Store in cool and dry conditions.
- Do not store or leave in temperatures of 140°F(60°C) or above.
- When long-term storage, please keep it to about 20% to 30% charge capacity.

Life cycle

- The life cycle may depend on usage environment, or frequency of use or conditions during storage.
- The battery's life cycle is also reduced if used or stored under high temperatures, or if stored in a fully charged condition for extended periods.

Specifications

- Cell chemistry : Li-ion
 - Nominal voltage : DC 7.4V
 - Capacity : 7350mAh/55Wh*1
 - Charge voltage : (Std.) DC 8.4V
(Max.) DC8.5V(32~113°F(0~45°C))
 - Charge current : (Std.) 2.5A
(Max.) 3.5A(50~113°F(10~45°C))
 - Maximum Discharge power / current
Battery connector : 21W / 3.5A
X-Tap connector : 20W / 3.3A
Dual output(Total) : 41W(below 95°F(35°C))*2
: 36W(95~113°F(35~45°C))*2
 - X-Tap output voltage : Battery through voltage(8.4V~6.0V)
 - End voltage : 6.0V
 - Battery protection circuit :
Over-charge, Over-discharge, Over-current,
Thermal protection
 - Ambient temperature
To charge : 32~113°F(0~45°C)
(50~86°F(10~30°C) recommended)
To discharge : -4~113°F(-20~45°C)
(50~104°F(10~40°C) recommended)
To store : -4~122°F(-20~50°C) (one month)
 - Dimensions/Weight :
43(W)×80.5(H)×70.4(D)mm/approx. 350g
1.69(W)×3.17(H)×2.77(D)inches/approx. 0.77lbs
- *1.Measured capacity of battery is a minimum rating at 40°F(20°C).
- *2.When both Battery connector and X-Tap connector output simultaneously, please note maximum discharge power (total) and ambient temperatures. Discharging would be stopped when activated the thermal protection due to high temperature of battery inside.

Battery Recycling

This Li-ion battery can be recycled. Please follow the regulations in your country or contact your local IDX office for further details.



Design and specification are subject to change without notice.

IDX Company, Ltd. 6-28-11 Shukugawara, Tama-ku, Kawasaki-shi, Kanagawa-ken, 214-0021 Japan
Tel : +81-44-850-8801 Fax : +81-44-850-8838 URL : <https://www.idx.tv/> E-mail : idx.japan@idx.tv
IDX Technology Europe, Ltd. 391 Edinburgh Avenue, Slough Industrial Estate, Slough, SL1 4UF, England
Tel : +44-1753-547692 Fax : +44-1753-546660 URL : <http://www.idx-europe.co.uk/> E-mail : idx.europe@idx.tv
IDX System Technology, Inc. 2377 Crenshaw Blvd, Suite 154, Torrance, CA 90501 USA
Tel : +1-310-328-2850 Fax : +1-310-328-8202 URL : <http://www.idxtek.com/> E-mail : idx.usa@idx.tv

Shipment

- At the time of factory shipment, the state of the battery charge is about 30%. This will depend on production lots and length of storage time.

Li-ion Battery Air Transport Compliance (as of Jan 1st, 2014)

International Civil Aviation Organization (ICAO) and International Air Transport Association (IATA) rules, regulations and requirements:

- Battery is proven to meet the requirements of each test in the UN Manual of Tests and Criteria, Part III, subsection 38.3.
- Lithium ion battery is less than 100Wh.
- Lithium ion battery capacity Watt-hour rating is labeled on the outside of the battery case.

SSL-JVC75 ICAO and IATA

The SSL-JVC75 has met the requirements for United Nations Recommendation on the Transport of Dangerous Goods. The SSL-JVC75 capacity is less than 100Wh which is illustrated on a label located on the exterior of the battery housing.

SSL-JVC75 Classification

The SSL-JVC75 battery is classified as a "Class9 Dangerous Goods" product by the International Civil Aviation Organization (ICAO) and International Air Transport Association (IATA). This battery is required to follow certain procedures at times of shipping and transportation. Below are guidelines for properly preparing the shipment and transportation of the SSL-JVC75.

For aircraft carry-on baggage

An unlimited number of carry-on batteries are permitted; IDX recommends isolating the battery terminals by taping or put the spare battery into plastic bag. IDX recommends checking with the airline company prior to traveling. Some airline companies may have additional rules and regulations for transporting lithium ion batteries.

For aircraft check-in baggage

If the battery is attached to a piece of equipment, such as a camera, monitor, recorder, etc, it can be checked-in baggage.

If the battery is not attached to a piece of equipment, it must be carried-on.

For cargo

- Battery only (Packing Instruction 965 Section II)

Two batteries that are less than 100Wh in one packing box can be transported by cargo. This will exempt the package from being classified as hazardous material. To qualify for this exemption, the package used for transportation must pass a 1.2 meter drop test.*3 In addition, a lithium ion battery caution label is required on the shipping package. To finalize the exemption, a declaration of exemption for Dangerous Goods materials must be submitted to the cargo company.

- Battery only (Packing Instruction 965 Section I.B)

When transporting three or more batteries with a total package weight of 22 lbs (10kg) or less, the package must be classified as "Class 9 Dangerous Goods". The package used for cargo must pass a 1.2 meter drop test. In addition, it is necessary to label the following on the package: lithium ion battery caution label, Class9 label, UN number"UN3480 Lithium ion Batteries", name and address of shipper and consignee. Lastly, a declaration of dangerous goods materials should be submitted to the cargo company.

- Battery packed with equipment (Packing Instruction 966 Section II)

When the battery is packed with equipment and the net weight of a battery (battery weight only) in the package is 11 lbs (5kg) or less, this package may be transported as an exemption of the dangerous goods article. However, one package is limited to the minimum quantity of batteries required to operate the equipment and two spare batteries. To qualify for this exemption, the package used for cargo must pass a 1.2 meter drop test.*3 In addition, a lithium ion battery caution label is required on the shipping package. Lastly, a declaration of exemption for dangerous goods materials should be submitted to the cargo company.

- Battery contained in equipment (Packing Instruction 967 Section II)

If the battery is installed in the equipment and the net weight of the battery (battery weight only) is 11 lbs (5kg) or less, this package may be transported as an exemption to the dangerous goods article. A caution label and declaration are not required if there are two or less batteries installed in the equipment and is packaged with firm packing material. If more than two batteries are installed in the equipment, the package must have a lithium ion battery caution label and a declaration of exemption for dangerous goods article should be submitted to the cargo company. A drop test for this package is not required.

*3 IDX's standard shipping package has passed the drop test; however, the individual battery package has not tested.

If the above requirements are not met, all packages are subject to the classification of Dangerous Goods product (class9).

202302
BLMK230013-1

EU only

